

WhatsUp Gold 2026.0 リリースノート

WhatsUp Gold のバージョン 26.0 に実装された機能と拡張機能を記載します。このリリースに組み込まれた機能の選択と検証にはお客様からのご意見が役立っています。ご協力をどうもありがとうございました。WhatsUp Gold を継続的に改善するために、引き続きお客様からのご意見をお待ちしております。

イントロダクション

フィードバックをお待ちしております

[WhatsUp Gold Community](#) の [WhatsUp Gold Customer Validation Program \(CVP\)](#) に参加して、当社の [アイデアーションポータル](#) に製品に関するアイデアをお寄せください。

追加リソース

- サポートされるバージョン、パッチ適用/アップグレード、機能の廃止については、『[製品互換性ガイド](#)』を参照してください
- テクニカルサポートでどこまでカバーされるかについては、「[サポートの範囲](#)」を参照してください
- セキュリティの管理方法については、「[セキュリティガイドライン](#)」を参照してください
- WhatsUp Gold のシステム要件は、「システム要件」の項を参照してください

WhatsUp Gold 2026.0 の新機能

マスターシークレットキー (Master Secret Key)

このバージョンの WhatsUp Gold では、**マスターシークレットキー**に基づく新しい暗号化メカニズムが導入されています。マスターシークレットキーは、本バージョンへのインストールまたはアップグレード時に生成されます。このキーは各 WhatsUp Gold サーバーごとに固有である点にご注意ください。さらに、WhatsUp Gold には、WhatsUp Gold インスタンスを別のサーバーへ移行する際にマスターシークレットキーを管理するための**専用アプリケーション**がインストールされました。

重要な考慮事項：

- **安全な保管**
マスターシークレットキーは、WhatsUp Gold サーバーとは別の安全な場所に保管する必要があります。
- **サーバー移行**
マスターシークレットキーは、WhatsUp Gold データベースを別のサーバーへ正常に移行するために必要です。
- **紛失時の影響**
マスターシークレットキーは、データベース移行および復旧後のアクセスに必要です。このキーを紛失すると、暗号化されたデータの復元ができなくなる可能性があります。

この機能強化は、最新のセキュリティベストプラクティスに基づいており、セキュリティ意識が高まる現代の環境における要件にも適合しています。マスターシークレットキーの導入により、機密データの保護が強化され、不正アクセスから監視環境を守ることが可能になります。



- ✓ WELCOME
- ✓ EULA
- ✓ SYSTEM CHECK
- ✓ LICENSE
- ➔ **OPTIONS**
- INSTALL
- FINISH

Master Secret Key

The Master Secret Key is used to encrypt sensitive information within the WhatsUp Gold database.

You must have your Master Secret Key to successfully migrate your WhatsUp Gold setup to a new environment or to recover your configuration and data following a system failure.

Important: Save this key in a secure location before proceeding!

- Generate a new Master Secret Key
- Enter an existing Master Secret Key

Master Secret Key to use:

Click [here](#) for additional information about the Master Secret Key.

[Cancel](#)

Back

Next

Dark Mode

Export Master Secret Key

Export and view your Master Secret Key so you can save it securely for backup or migration

Import Master Secret Key

Import your previously saved Master Secret Key

Export Key

Cancel

マスターシークレットキー (Master Secret Key) について

マスターシークレットキーは、WhatsUp Gold のインストール時に生成される一意のキーであり、データベース内の Web ユーザーパスワードや認証情報などの機密情報を暗号化するために使用されます。インストーラーによってキーが生成された際は、必ずコピーして安全な場所に保存してください。新しい環境へ WhatsUp Gold の設定を移行する場合や、システム障害後に設定やデータを復旧する場合には、マスターシークレットキーが必要になります。

なお、すべての WhatsUp Gold インスタンスには、インストール完了時にマスターシークレットキーの生成が必須であるため、すでにマスターシークレットキーが存在します。既存のマスターシークレットキーを別の WhatsUp Gold インストールに正常にインポートするには、互換性の問題やデータ損失を回避するために、Key Manager アプリケーションを実行する必要があります。

重要： スケーラビリティポラーのインストールにもマスターシークレットキーが必要です。

専用アプリケーション - Key Manager アプリケーションについて

Key Manager アプリケーションは、WhatsUp Gold インスタンスを別のサーバーへ移行する際にマスターシークレットキーを管理するための専用アプリケーションです。このアプリケーションは、WhatsUp Gold サーバー上の以下の場所にあります：

WhatsUp Gold インストールドライブ:\Program Files (x86)\Ipswitch\WhatsUp\KeyManager.exe

ファイル名を右クリックし、[管理者として実行] を選択して Key Manager アプリケーションを起動します。

既存の WhatsUp Gold サーバーからマスターシークレットキーをエクスポートし、新しい WhatsUp Gold インストールで使用するには、[Export Master Secret Key] ラジオボタンを選択し、[Export Key] をクリックします。次に、WhatsUp Gold の管理者ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックすると、実際のマスターシークレットキーが表示されます。キーをコピーし、安全な場所に保存してください。

重要： Key Manager アプリケーションには [Import Master Secret Key] オプションもあり、既存のマスターシークレットキーを新しい WhatsUp Gold インストールへインポートすることができます。ただし、当社では、WhatsUp Gold のインストール完了後にインポートするのではなく、新しいサーバーで WhatsUp Gold インストーラーを実行する際に既存のマスターシークレットキーを入力することを強く推奨しています。

やむを得ずこのオプションを使用する場合は、事前に C:\Program Files (x86)\Ipswitch\WhatsUp\Data にある wug.dat ファイルを削除またはリネームする必要があります。また、マスターシークレットキーのインポート後には WhatsUp Gold サーバーを再起動する必要があります。

サーバー移行

既存のマスターシークレットキーを保持したまま、既存の WhatsUp Gold サーバーを新しいサーバーへ移行する手順は以下の通りです：

1. 新しいサーバーで WhatsUp Gold インストーラーを実行します。
2. プロンプトが表示されたら、[既存のマスターシークレットキーを使用する] オプションを選択し、既存環境のマスターシークレットキーを入力します。このキーは、既存の WhatsUp Gold サーバー上の Key Manager からエクスポートできます。
3. インストールを完了します。

これにより、元のサーバーと同じマスターシークレットキーを使用した空の WhatsUp Gold 環境が新しいサーバー上に作成されます。次に、既存サーバーから新しいサーバーへデータベースを復元します：

1. WhatsUp Gold 管理コンソールを起動します。
2. [ツール]>[データベースユーティリティ] >[WhatsUp Gold SQL データベースの復元] を選択します。なお、この操作により、マスターシークレットキーの要件に関するダイアログが表示され、Key Manager アプリケーションへ直接アクセスできます。
3. [続行] をクリックします。
4. 復元したい WhatsUp Gold のデータベースバックアップを参照して選択します。
5. [開く] を選択します。
6. SQL 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
7. プロンプトが表示されたら、[Ipswitch Service Control Manager サービスおよび IIS 上の WhatsUp Gold アプリケーションプールが停止され、再起動されることを理解している] 旨を確認し、[はい] をクリックします。

証明書の検出およびレポート機能

WhatsUp Gold は、ネットワーク上の証明書を検出でき、そのデータに基づいたレポート機能も新たに追加されました。まず、検出で指定された IP アドレスおよびポートをスキャンし、SSL/TLS 証明書を特定するとともに、サブジェクト、発行者、シリアル番号、タイムスタンプ、有効開始日・有効期限、自己署名証明書かどうかといった詳細なメタデータを収集します。これらの情報は、新たに追加された専用のインベントリレポートおよびダッシュボードレポートで可視化されます。WhatsUp Gold は証明書の属性情報を収集するだけでなく、その証明書にアクセス可能なすべての経路（例：IP アドレス、DNS ホスト名、同一ポート上の複数の URL など）も特定します。これにより、環境全体における証明書の状況を包括的に可視化することが可能になります。

Discovery Scan

1. Start
2. Credentials
3. Options

Expand

Limit

Auto-Monitoring

Schedule

Review & Run

Options

Back
Next

Send email notifications upon completion of Discovery

Email settings

Prefer SNMP SysName as display name ⓘ

Allow DNS look-up to resolve hostnames from IP ⓘ

Advanced discovery connectivity checks

Ping only

Ping & credential TCP Port connectivity checks ⓘ

Ping & TCP port connectivity checks ⓘ

Certificates

Certificate discovery

Ports to be scanned for certificates and related information:

443 ×

Maximum threads

40

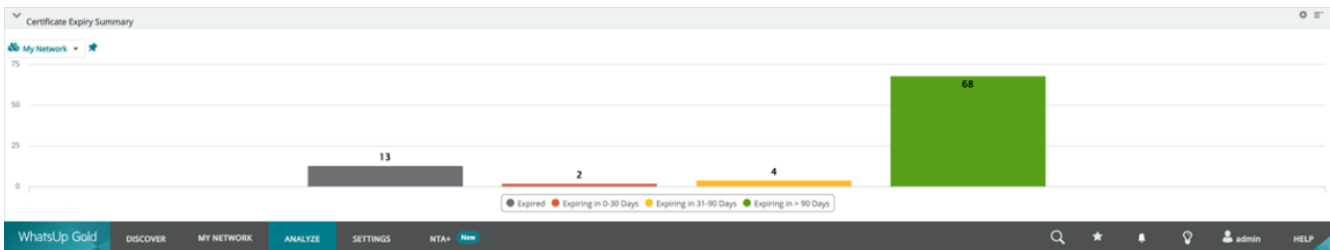
Ping

Timeout (ms) Retry count

3000

1

SNMP

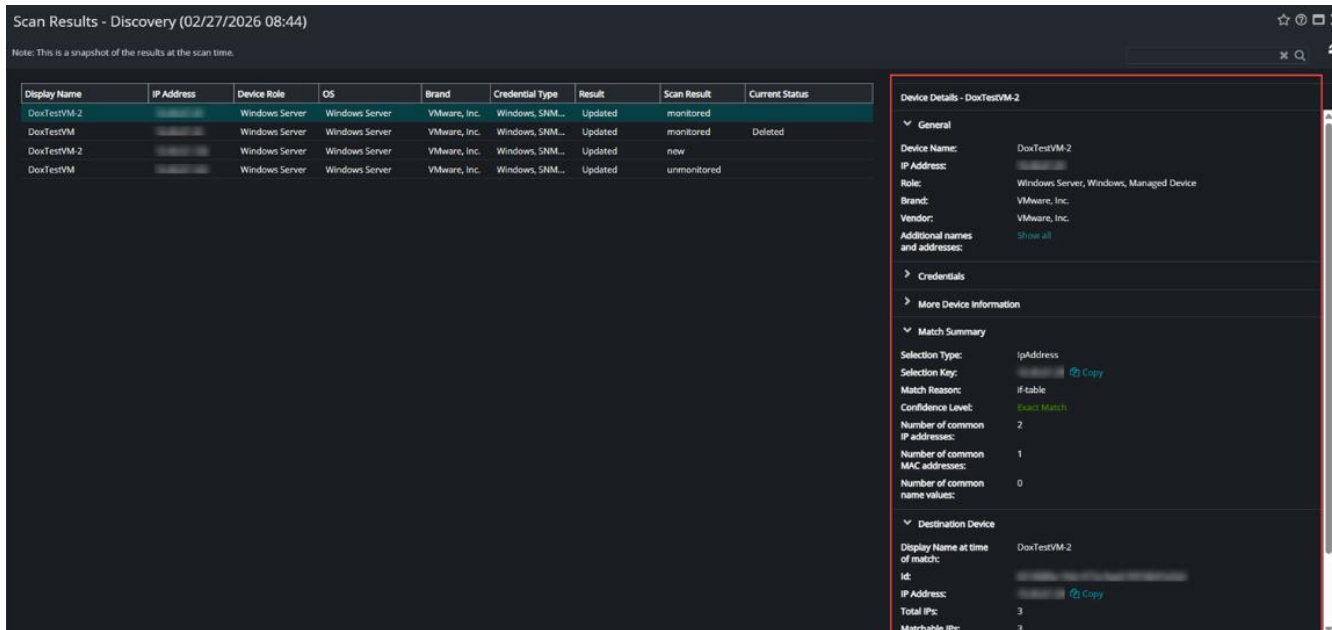


Certificates

Device	Primary IP Address	Expiration Category	Days until expiration	Expiration date	Address/Name	Port	Subject	Issuer	Last Collection
...	...	+90 days	685	01/31/2028 8:49:26 am	...	443	03/17/2026 9:03:03 am
...	...	+90 days	685	01/31/2028 8:49:26 am	...	443	03/17/2026 9:03:00 am
...	...	+90 days	685	01/31/2028 8:49:26 am	...	443	03/17/2026 9:03:02 am
...	...	+90 days	685	01/31/2028 8:49:26 am	...	443	03/17/2026 9:03:02 am
...	...	+90 days	685	01/31/2028 8:49:26 am	...	443	03/17/2026 9:03:12 am
...	...	+90 days	776	05/01/2028 5:35:04 pm	...	443	03/17/2026 9:05:27 am

デバイスカードのスキャン

[検出されたネットワーク] ビューと [マイネットワーク] ビューからアクセスできるデバイス情報カードと同様に、[スキャン結果] レポートでは、選択したデバイスの検出に関する新しいデバイス詳細ダイアログにアクセスできます。[スキャン結果] レポートの項目をクリックすると、検出中に収集された主要なデバイス詳細を表示するカードが起動します。



再スキャン／更新／リセットの改善

デバイスの再スキャン、更新、およびデバイス・デバイスグループ管理メニューオプションに対して機能強化が行われました。これらの変更は、ユーザーにとっての分かりやすさを向上させるとともに、各オプション選択時に WhatsUp Gold が実際に実行している処理内容とより整合させることを目的としています。なお、実際の機能自体は変更または削除されておらず、これらの改善はユーザーインターフェースおよび関連ドキュメントにおける新しい用語の使用と説明の更新に限定されます。主な変更点は以下の通りです。

Basic Rescan（基本再スキャン）

これは、旧バージョンの WhatsUp Gold に存在した「デバイス詳細の更新」オプションに相当します。このオプションを選択すると、現在の検出結果を使用してデバイスの標準的な更新が実行されます。基本更新では、スキャン条件に一致する場合、新しいロールおよび/またはサブロールが追加され、新たに検出されたロールに関連付けられたモニターおよび属性が自動的に適用されます。ただし、既存のロールやモニターは、スキャン条件に一致しなくなった場合でも変更されません。

Advanced Rescan（詳細再スキャン）

これは、旧バージョンの WhatsUp Gold に存在した「ユーザー定義ロールを含める」コントロールに相当します。このオプションは基本更新と同様の処理を行いますが、デバイスに割り当てられたロールおよびサブロールに基づいてモニターも更新されます。詳細更新では、スキャン条件に現在一致していないデバイスであっても、モニターおよび属性が適用される場合があります。

Update Inventory Data（インベントリデータ更新）

これは、旧バージョンの WhatsUp Gold に存在した「古いデータの削除」コントロールに相当します。このオプションを選択すると、

指定された期間のインベントリデータが削除および再スキャンされ、利用可能な最新のデバイスデータが適用されます。インベントリデータの更新により、ロール計算、マップ情報、レポートなど、WhatsUp Gold 内の関連領域の精度向上が期待できます。

Rescan Device Options

Device Rescan

Basic Rescan (default)

Advanced Rescan

- New applicable Sub Roles applied
- Existing sub roles will be updated(even if scan rules don't match)
- Nothing is removed from the device

Update Inventory Data

Removes and rescans inventory data for time period selected & latest data is applied. Improves role calculation, maps, reports and other areas

30 Days

Active Monitor Options

Update Interface & SNMP Table Monitor Names & Comments

Updates Interface and SNMP Table Monitor Names & Comments (if applicable)

Enable/Disable Interface and SNMP Table Monitors

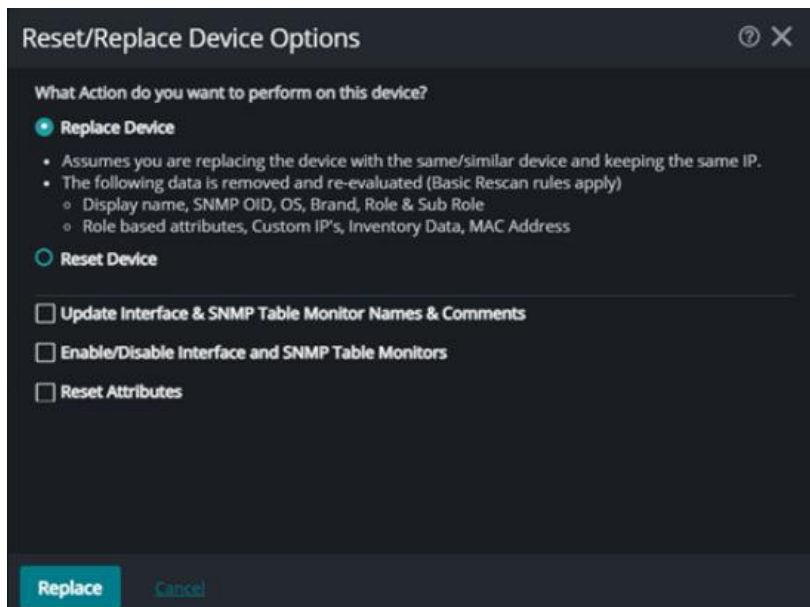
Apply 'Use in rescan'

Rescan Cancel

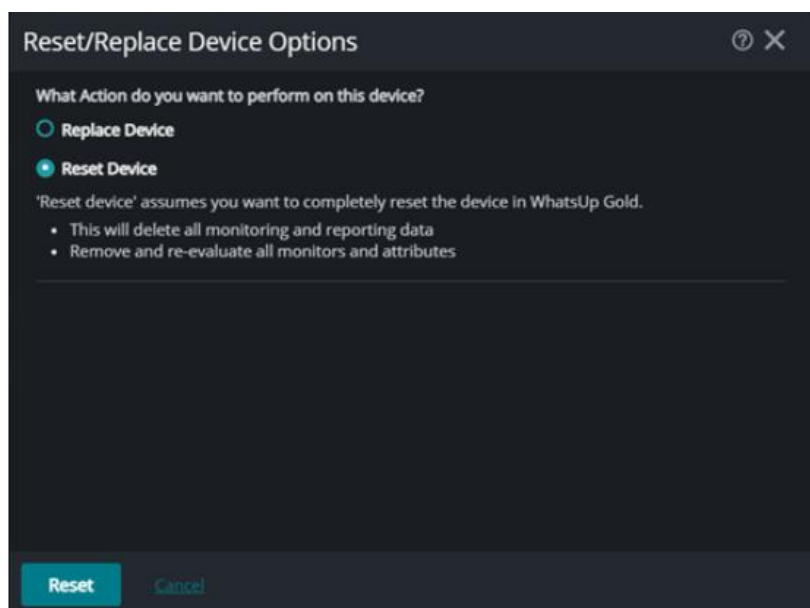
Reset/Replace Device (デバイスのリセット／置き換え)

新しく追加されたダイアログであり、特定の 2 つのシナリオで使用できます。

同一または類似のデバイスで既存デバイスを置き換え、同じ IP アドレスを維持したい場合、[デバイスの置き換え] を選択します。デバイスの置き換えを実行すると、表示名、SNMP OID、オペレーティングシステム、ベンダー、ロール、サブロールなどのデバイス情報が削除され再評価されます。また、ロールベース属性、カスタム IP アドレス、インベントリデータ、MAC アドレスなどにも変更が加えられる場合があります。



WhatsUp Gold 内のデバイスを完全に初期化したい場合は、[デバイスのリセット] を選択します。デバイスのリセットを実行すると、すべての監視およびレポートデータが削除され、すべてのモニタおよび属性が削除・再評価されます。



Hirschmann デバイスのサポート

本リリースでは、新しいサブロールとして Hirschmann デバイスのサポートが追加されました。検出で、sysObjectID が「1.3.6.1.4.1.248」で始まる Hirschmann デバイスを自動的に検出し、設定します。該当するデバイスに対して、検出時に新しいサブロールに基づく一部のアクティブモニタおよびパフォーマンスモニタを自動的に設定および適用します。

重要: WhatsUp Gold は TFTP サーバーのサポートを終了しました。TFTP サーバーインスタンスを使用している場合、WhatsUp Gold 2026 へのアップグレード時にアンインストールされます。

更新および改善

v26.0 での更新および改善

機能エリア	項目	説明
デバイスグループ	WUG-1447	ユーザーのホームグループとして割り当てられているデバイスグループを削除しようとした際、そのグループがホームグループとして設定されていることを示すメッセージではなく、一般的な失敗メッセージが表示されてしまう不具合を修正。
アクション	WUG-1901	SMTP アクションのパスワードに「€」文字が含まれている場合、データベースに保存されず、アクションを再度開いた際にパスワードフィールドが空白になる問題を修正。
API	WUG-10953	REST API エンドポイント /api/v1/devices/{deviceId}/reports/disk-utilization が LastPolled 値を返さない問題を修正。
マップ	WUG-13358	カスタムマップのレイアウトにおいて、独自の地図画像や注釈が保持されず、画面の更新やページ移動を行うと消えてしまったり、他のマップの画像が誤って読み込まれたりする不具合を修正。
API	WUG-14291	API を使用して動的なレイヤ 2 デバイスグループを別の親グループ配下へ移動しようとした際、リクエスト自体は成功したと報告されるのに、実際には移動が実行されない不具合を修正。
デバイス管理アクション	WUG-15117	「未確認」動的グループを右クリックして「すべてのデバイスを確認済みにする」を選択しても、グループ内のデバイスがクリアされない問題を修正。
設定管理	WUG-16719	アップグレード後、特定のスイッチで Telnet ベースのバックアップスクリプトが失敗する問題を修正。
認証情報	WUG-16918	クライアントおよびサーバーの SSH アルゴリズムが脆弱なために、セキュリティスキャンで検出されてしまう問題を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-17161	ダウン中のアクティブモニタの「デバイス」列の調整が記憶されない問題を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-17233	ダークモード使用時、「WhatsApp データベースサイズ」ウィジェットのテキストが暗い背景色に埋もれて見えなくなる問題を修正。
レポート	WUG-17640	CSV/XML 形式のデバイスヘルス定期レポートで、デバイス名が人間が判読可能な形式で表示されない問題を修正。
ログ	WUG-17674	アップグレード後に期限切れの DeviceStateChangeLog データのクリーンアップが失敗し、繰り返しエラーが発生したり、サービスが不安定になったりする問題を修正。
ユーザー権限	WUG-17678	デバイスグループへのアクセス権限が有効で、かつ管理者メンバーシップを持つ LDAP ユーザーが、監視対象デバイスを追加できない問題を修正。
証明書	WUG-17681	ISS が使用するポート 9644 の REST API SSL 証明書が、アップグレード中に新しく生成された証明書に不必要に置き換えられてしまう問題を修正。
検出	WUG-17684	デバイスが正しくマージされない問題を修正。
設定管理	WUG-17719	設定のバックアップがデータベースには保存されるものの、設定ファイルがディスクに書き込まれない不具合を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-17720	形式が正しくないロール名が正常に表示されない不具合を修正。
ワイヤレス	WUG-17728	組み込みクライアントを使用したりリモートログイン接続が、メモリサイズのエラーにより失敗し、手動でのクライアント切り替えが必要となる不具合を修正。
アラートセンター	WUG-17731	アラートセンターのエラーログに「エラー = 同じキーを持つアイテムが既に追加されています」というエラーが表示される不具合を修正。
検出	WUG-18243	検出処理ががハングアップする不具合を修正。
ユーザーインターフェース	WUG-18248	デフォルトのエラーメッセージで、ユーザーにとって分かりやすいエラーテキストが表示されない問題を修正。
サービス	WUG-18263	networkviewerdataservice がクラッシュする問題を修正。

アップグレード	WUG-18304	アップグレード後にユーザーがログインできなくなる問題を修正。
モニタ	WUG-18369	SNMP テーブルモニタが、完全な SNMP MIB ウォークで表示されるすべてのインターフェースのエントリを作成しない問題を修正。
サービス	WUG-18428	\\Ipswitch\WhatsUp\Data 下の NmDataCollector フォルダがクリーンアップされない問題を修正。
レポート	WUG-18453	TxSpeed フィルターで誤ったスケール値が求められ、インターフェース使用率レポートで正確なフィルタリングができない問題を修正。
ワイヤレス	WUG-18461	Cisco 9200 シリーズスイッチのインターフェースで、誤ったステータスが表示される問題を修正。
セキュリティ	WUG-18666	インストールまたはアップグレード後に、廃止された ASP.NET コンポーネントや CiscoCollab データフォルダが残留し、セキュリティスキャンで検出されてしまう問題を修正。
ワイヤレス	WUG-18669	一部の Cisco 2811 ルーターで、検出時に誤った SNMP コミュニティ文字列が表示される問題を修正。
レポート	WUG-18681	複数の IP グループでレポートをフィルタリングした際に結果が表示されず、トラフィック集計レポートが作成できない問題を修正。
インベントリ	WUG-18711	Refresh/Rescan プロファイルが SkipIpRouteTable 設定を正しく継承せず、インベントリ画面にすべての IP ルートが表示されない問題を修正。
レポート	WUG-18730	Live View レポートで NTA しきい値違反が IP アドレスに基づいて誤ったデバイスにマッピングされ、異なる場所にあるデバイスに関連付けられてしまう問題を修正。
モニタ	WUG-18765	REST API モニタが Redfish デバイスのルートに対して認証できるものの、より深いサブリソースパスにアクセスしようとすると 401 エラーが発生する問題を修正。

既知の問題

機能エリア	項目	説明	回避策	適用されるバージョン	修正されたバージョン
レポート	WUG-19216	「証明書」レポート（および共通のデバイス選択機能を使用するその他のページ）において、デバイスフィルターを変更しても現在のアクティブな選択内容が更新されない場合があり、「すべてのデバイス」や別のノードを選択した後も、レポートが以前に選択されていたデバイスを参照し続けてしまうことがあります。その結果、明示的に別のノードを選択し直し、改めて目的のスコープを選択し直すまでは、レポート画面が空白になったり、期待されるデバイスが表示されなかったりする可能性があります。	なし	26.0	N/A
ログ管理	WUG-18903	Go のバージョン 1.16.7 より新しいバージョンを使用して構築されたエージェントクライアントが、エージェント証明書内のフラグ設定の誤りにより、WhatsUp Gold への接続に失敗する可能性があります。	既存のインストール環境では、エージェント一般設定ダイアログからエージェント証明書を再生成する必要がある場合があり、この操作を行うと稼働中のすべてのエージェントが再デプロイされます。	26.0	N/A

検出	WUG-19448	WhatsUp Gold 25.x で検出および監視されていたデバイスは、26.0 にアップグレードした後も既存の証明書データが新しい証明書テーブルに移行されないため、証明書情報は「デバイスのプロパティ」→「モニタ」では表示されますが、インベントリやダッシュボードのレポートでは表示されない場合があります。	これらのレポート画面に証明書データを表示させるには、バージョン 26.0 の環境下で対象となるデバイスを再検出した上で、証明書監視を開始または更新する必要があります。	26.0	N/A
----	-----------	---	---	------	-----

理解すべき事項

重要: MySQL データベースを監視するには、MySQL .NET Connector をダウンロードして WhatsUp Gold マシンにインストールしてください。互換性の問題が発生する可能性があるため、WhatsUp Gold の最新バージョンは MySQL .NET Connector バージョン 8.0.21 のみをサポートしていることに注意してください。アプリケーション監視機能や SQL Query アクティブまたはパフォーマンスモニタを使用している場合は、コネクタをダウンロードしてバージョン 5.2.5 から 8.0.21 にアップグレードする必要があります。MySQL.NET Connector は、<https://downloads.mysql.com/archives/c-net/> からダウンロードできます。

重要: WhatsUp Gold をアップグレードする前にエージェントを展開して使用していた場合は、利用可能な修正や更新された機能を適用するためにエージェントを再展開する必要があります。エージェントを再展開し、WhatsUp Gold のアップグレードを完全に完了させるには、WhatsUp Gold エージェントを展開する権限を持つ管理者アカウントを使用して WhatsUp Gold にログインしていることを確認します。次に、メインメニューから [設定] > [WhatsUp Gold エージェント] > [エージェントのライブラリ] に移動します。ライブラリに表示されている既存のエージェントをすべて選択し、[エージェントの展開] をクリックします。このプロセスでは、5 つのエージェントを一括で更新します。大量のエージェントを展開している場合、このプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。

次の WhatsUp Gold ドキュメントも参照してください。

[ライフサイクル情報](#)

[ライフサイクルポリシーガイド](#)

[製品互換性ガイド](#)

[アイディエーションポータル](#)

[サポートの範囲](#)

[セキュリティガイドライン](#)

システム要件

ハードウェア要件のガイドライン

ハードウェア要件は WhatsUp Gold の設定に応じて異なります。監視対象デバイス数、モニタ数、モニタのタイプ、ポーリング間隔やその他の構成オプションが増えると、サーバーとデータベースにかかる負荷がさらに増大する可能性があります。環境のパフォーマンスを最適化するには、ハードウェア構成を調整する必要がある場合があります。

重要: ログ管理機能を正常に利用するには、以下の表の右端の列に記載されている「20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック」に対応する最小ハードウェア要件を満たしている必要があります。

サーバーの最小および推奨要件

	100 台のデバイス / 500 のメトリック*	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック*	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック*
	最小 / 推奨	最小 / 推奨	最小 / 推奨
プロセッサ	クアッドコア / オクタコア	クアッドコア / オクタコア	クアッドコア / オクタコア
プロセッサ速度	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上	2.6 GHz 以上
RAM	8 GB / 12 GB	16 GB / 24 GB	WhatsUp Gold サーバー: 16 GB / 24 GB 専用 SQL Server: 32 GB / 64 GB
データベースの種類	SQL Server 2022 Express Edition	専用 SQL Server 2017/2019/2022	専用 SQL Server 2017/2019/2022
ハードドライブ	25 GB 以上の空き領域	OS/アプリケーション - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 データベースファイル - 4 x 100 GB の RAID 10	OS/アプリケーション - 15 GB 以上の空き領域がある RAID 1 データベースファイル - 8 x 250 GB の RAID 10 ログファイル - 2 x 100 GB の RAID 0 一時データベースファイル - 2 x 250 GB の RAID 0 SQL Server のデータベースファイルとログファイルの移動の 詳細については、 How to migrate the WhatsUp Gold database を参照してください。
ネットワークインタフェースカード	最小 100 Mbps (1 Gbps 推奨)	100 Mbps (1 Gbps 推奨)	1 Gbps
サウンドカード	テキスト音声変換アクション には SAPI 対応サウンド カードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカード が必要

*データベースに格納された各データポイントはメトリックとしてカウントされ、WhatsUp Gold はモニタごとに複数のメトリックを収集する場合があります。

WhatsUp Gold にアクセスするための推奨事項

リモートマシンにインストールされているブラウザを使用して、WhatsUp Gold サーバーにアクセスすることをお勧めします。
WhatsUp Gold サーバーにアクセスする場合は、最適なパフォーマンスを得るために、次の仕様に従ってください。

	100 台のデバイス / 500 のメトリック 最小要件	2,500 台のデバイス / 12,500 のメトリック 最小要件	20,000 台のデバイス / 100,000 のメトリック 最小要件
RAM	8 GB	8 GB	16 GB
プロセッサ	クアッドコア	クアッドコア	クアッドコア
ビデオ表示解像度	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上	1920 x 1080 以上
サウンドカード	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要	テキスト音声変換アクションには SAPI 対応サウンドカードが必要

製品には、ログインユーザー数に対するハードコードされた上限はありません。最大同時接続ユーザー数は、IIS の制限およびシステムの利用可能なリソースに依存します。

オペレーティングシステム要件

WhatsUp Gold は次の Windows Server プラットフォームをサポートしています。

- Microsoft Windows Server 2025
- Microsoft Windows Server 2022
- Microsoft Windows Server 2019

以下の点にご注意ください。

- ドメインコントローラへの WhatsUp Gold のインストールは推奨されず、サポート対象外です。
- WhatsUp Gold が仮想環境でホストされている場合は、ライセンスの問題を防ぐために、WhatsUp Gold が動作している仮想マシンに静的 MAC アドレスを必ず割り当ててください。仮想マシンへの静的 MAC アドレスの割り当てについては、仮想マシンソフトウェアのヘルプドキュメントを参照してください。
- WhatsUp Gold にはクアッドコアプロセッサ (最小 2.6 GHz) が必要です。仮想マシンに WhatsUp Gold をインストールする場合は、ゲスト VM に最低 4 つの CPU コアが割り当てられていることを確認してください。さらに「[ハードウェア要件のガイドライン](#)」を参照してください。

データベースの要件

重要: WhatsUp Gold へのアップグレードにより、WhatsUp Gold に付属されている SQL Server Express データベースは、SQL Server 2022 Express に更新されます。

重要: WhatsUp Gold のデフォルトインストールでデフォルトとしてインストールされるデータベースではなく、リモート SQL データベースを使用している場合、その他の WhatsUp Gold のデータベース設定については、『[WhatsUp Gold データベース移行管理ガイド](#)』を参照してください。

注: WhatsUp Gold データベースをホストするために使用される Microsoft SQL Server の照合順序は、SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS に設定する必要があります。Latin1_General_CI_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。また、前述の各 WhatsUp Gold データベースの照合順序も SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS に設定する必要があります。Latin1_General_CI_AS 照合順序もアップグレード時に使用できますが、実行中にエラーが発生する可能性があるため、推奨されていません。

WhatsUp Gold では、監視対象デバイスに関するデータの維持、システム設定の保存、およびユーザー設定のカスタマイズの保存を行うデータベースが必要です。データベースは WhatsUp Gold インストールと同じ場所に配置することも、リモートマシンでホストすることもできます。WhatsUp Gold のデータサービスは、次のデータベースサーバーで提供できます。次のデータベースバージョンがサポートされています。

- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2022

Web サーバーの要件

IIS がサポートされているプラットフォームでは、WhatsUp Gold のインストーラによってこれらが自動的にインストールされ、有効になります。WhatsUp Gold には、IIS の次の Web サーバー役割サービスが最低限必要です。

- Web サーバー
- ASP .NET
- 静的コンテンツ
- HTTP リダイレクト
- 既定のドキュメント

フレームワーク要件

WhatsUp Gold には、スクリプト作成をサポートするために Microsoft .NET Framework およびその他の Microsoft パッケージが必要です。必要なソフトウェアフレームワークおよびサポートパッケージは次のとおりです。

- .NET 4.8 (インストールプログラムに含まれています)。
- PowerShell 2.0 (PowerShell スクリプトを作成する場合に必要。WhatsUp Gold インストーラには含まれていません。PowerShell のインストールの詳細については、Microsoft MSDN の Web サイトをご覧ください)。
- Microsoft Windows Scripting Host v5.7 以降。
- Microsoft SAPI 5.1 (テキスト音声変換アクションに必要です)。

重要: Microsoft .NET Framework オプションが必要です。ただし、Microsoft .NET Framework オプションでは次の機能/コンポーネントのオプションを有効にすることはできません。 [.NET Framework Windows Communication Foundation HTTP アクティブ化] および [Windows Communication Foundation 非 HTTP アクティブ化]。

Web インターフェースの要件

WhatsUp Gold では現在、次の Web ブラウザを使用できます。

- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla Firefox

ヒント: WhatsUp Gold は、いずれの Internet Explorer バージョンも互換性または互換モードでサポートしていません。

ログ管理の要件

WhatsUp Gold ログ管理機能は、監視対象デバイスからログデータを収集し、そのデータをレポートおよび分析用に Elasticsearch データベースに保存してレポート作成や分析に使用します。WhatsUp Gold のログ管理機能を利用するには、[Elasticsearch をインストールして設定](#)する必要があります。[バージョン 8](#) または [バージョン 7](#) のようなサポートされている Elasticsearch のメジャーバージョンを使用してください。

重要: リソース使用量の観点から、Elasticsearch は WhatsUp Gold と同じサーバーにインストールしないでください。サポートされている Elasticsearch のバージョンについては、[WhatsUp Gold 製品互換性ガイド](#)のセクション 2.4 を参照してください。

WhatsUp Gold サーバーでは、Elasticsearch インスタンスをサポートするために以下を必要とします。

- CPU 速度: 2.6 GHz 以上
- CPU 数: 8 コア以上
- RAM: 16 GB 以上
- ディスク領域: 200 GB 以上

ポーラーの要件

ネットワーク環境と製品展開に応じて、WhatsUp Gold は 1 台の WhatsUp Gold サーバーと追加のポーラーによって、メトリックを最大で 100,000 までポーリングできます。WhatsUp Gold システムにポーラーを追加でインストールすると、アクティブモニタデータとパフォーマンスモニタデータを WhatsUp Gold サーバーに転送できます。ポーリングアクティビティを複数のポーラー間に拡張すると、WhatsUp Gold がポーリングし、データを収集して WhatsUp Gold システムに送り返すことのできるデバイスの数が増えます。ポーラーを追加することで、WhatsUp Gold はポーリングをより多くのネットワークデバイスに効率的に拡大し、結果としてより大きなネットワークを監視および管理する能力を提供できるようになります。追加のポーラーは、WhatsUp Gold サーバー以外のネットワーク上のどの Windows システムにもインストールできます。

	各追加ポーラーの最小要件
プロセッサ	クアッドコア
RAM	4 GB
ハードドライブのアプリケーション用空き領域	2 GB
OS の要件	上記の「オペレーティングシステム要件」のセクションを参照してください。

WhatsUp Gold のインストール

WhatsUp Gold の導入で適切な操作とセキュリティ保護を維持するには、次のことをお勧めします。

- WhatsUp Gold とすべてのコンポーネントを施錠されたサーバールームまたはキャビネットにインストールし、物理的なアクセスが信頼できる管理者に制限されるようにします。
- WhatsUp Gold ソフトウェアコンポーネントを専用サーバーにインストールします。これらのサーバーを他の目的に使用しないでください。

WhatsUp Gold の最近のバージョンは WhatsUp Gold v22.1.0 以降からの直接アップグレードインストールをサポートしています。古いバージョンの WhatsUp Gold を実行している場合は、最新バージョンの WhatsUp Gold をインストールする前に、まず v22.1.0 にアップグレードする必要があります。アップグレード後にユーザーインターフェイスに新しい Web アプリケーションページが表示されるように、ブラウザのキャッシュを必ずクリアしてください。アップグレードを行う前に、必ずデータベースをバックアップしてください。WhatsUp Gold に含まれる SQL Express データベースを使用している場合は、アップグレードに進む前にインストーラ/アップデータでバックアップ作業を行うことができます。インストール、アップグレード、修復、およびアンインストールの詳細については、『[WhatsUp Gold のインストール](#)』ガイドを参照してください。

重要: WhatsUp Gold カスタムデータベース変更のアップグレードはサポートされていません。WhatsUp Gold インストーラは、WhatsUp Gold データベーススキーマに対するデータベースの変更を検出した場合、警告を表示してインストールを続けます。将来の WhatsUp Gold リリースでは、インストーラの警告に対処するまでインストーラが先に進まないようになる予定です。

オフラインでのインストールとアクティベーション

重要: インターネットに接続しているマシンでアカウントからパッケージをダウンロードし、目的のサーバーでインストーラを実行します。アクティベーション番号の入力を求められたら、[オフラインアクティベーションモードを使用] を選択してアクティベーションプロセスを続行します。評価者ライセンスをお使いでアカウントへのアクセス権がない場合は、[カスタマーサービス](#)までお問い合わせください。

注: IPv6 のみの環境では、オフラインアクティベーションを使用する必要があります。

製品ライフサイクルに関する情報

現在サポートされているバージョンについては、『[WhatsUp Gold ライフサイクル](#)』ページを参照してください。

著作権表示

Progress Software Corporation の現在の製品ドキュメントの著作権表示/商標説明を確認するには、次のページにアクセスしてください: <https://www.progress.com/legal/documentation-copyright>。